

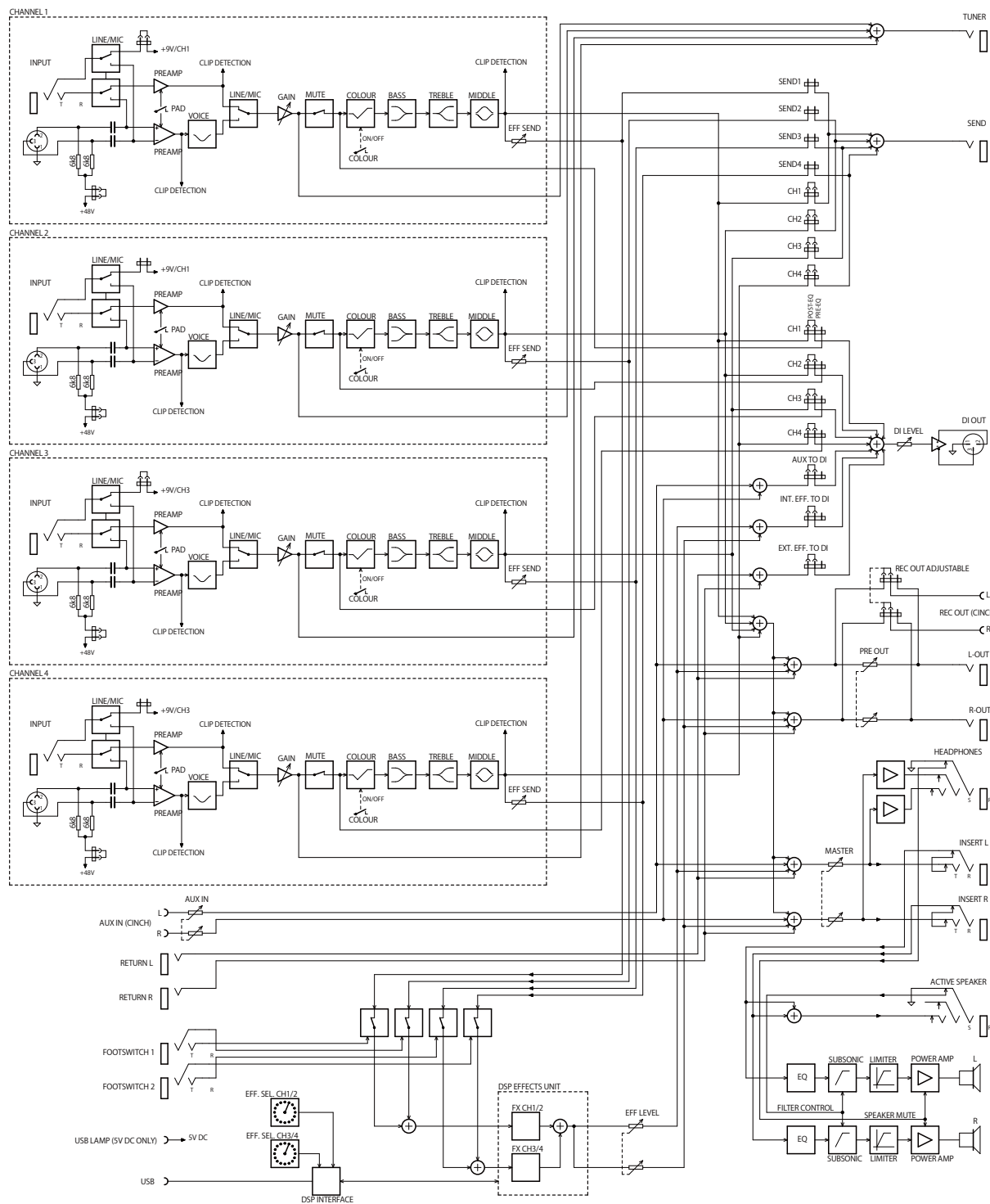
Acoustic Solutions

Domino 3

AER The Acoustic People®



取扱説明書



3

各種操作

3.1

電源の入れ方

日本国内（100V電源）にてご使用下さい。製品の電源を入れる前に、"master"、"gain"、"AUXイン"、"プリアウト"、"エフェクトレベル"、"エフェクトセンドコントロール"を 0ポジション（反時計回りに回してそれ以上いかない箇所）に、その他の全てのコントロールは中央のポジションにセットして下さい。プッシュボタンは押されていない状態にして下さい。

（注） ファンタム電源が必要であるかどうかわからないときは、リアパネルの9 Vと48 V（ファンタム電源の下）を有効にしないでください。

そして配線を行って下さい（主電源、楽器・マイク、リンク）。 以上の手順の後、リアパネルにある主電源のスイッチを入れて下さい。緑色の電源ランプがついたら、操作可能です。

3.2

レベルコントロール

ゲイン・コントロール、パッド、ライン/マイク・スイッチを使用すると、信号源（ギター・ピックアップ、マイクなど）にアンプを適応させ、可能な限り最良の信号対ノイズ比（SNR）を実現できます。最初に、信号源に応じて各チャンネルのライン/マイクスイッチを設定します。（マイクはmic、ピックアップはline等）。強力なアタックでプレイしているときに赤いクリップインジケータが瞬間的に点灯するまで、ゲインコントロールを時計回りに回します。今度は歪みのない再生のためのヘッドルームを得るために、ゲインコントロール（および楽器のボリュームコントロール）を少し下げてください。クリップコントロールLEDがほとんど点灯することがなくなります。入力信号が強すぎてレベル設定が難しい場合は、パッドスイッチも押してください。入力信号が弱すぎる場合は、それに応じてゲインコントロールを増加させる必要があります。最後に、マスターコントロールで全体的な音量レベルを設定します。必要に応じて、選択したチャンネルをミュートスイッチでミュートすることができます。

3.2

トーンコントロール

本製品の3バンドに分かれたトーンコントロールは、特にアコースティック楽器の音色を表現するのに適しており、又その他の機材でも標準的なニーズをカバーできる仕様となっております。'colour'スイッチはフィンガースタイルテクニックに特に必要なミッド・カット・トレブル・ブーストフィルター効果を実現します。注意：EQコントロールを調節するとレベル設定にも影響があります。 クリップインジケータが頻繁に点灯する場合、ゲイン設定を修正する必要があります（「レベルコントロール」の項をご参照ください）。

3.3

エフェクトコントロール

本製品には内蔵デジタル32ビットAERエフェクトプロセッサーがあり、2つのエフェクトセレクトロータリーコントロールを使って16種類のエフェクトプログラムの1つをチャンネル1/2と3/4に割り当てることができます。センドコントロールでは、各チャンネルのエフェクトの比率が調整されます。さらに、付属のUSBケーブルを使ってアンプをコンピュータに接続し、Domino 3エフェクトコントロールパネルのソフトウェアを使用して、自分の好みに合わせてエフェクトパラメータをリアルタイムで変更して保存することもできます。そのエフェクトレベルコントロールは、内部エフェクトの強さを決定します（左のストップ=エフェクトなし）。必要なチャンネルのセンドコントロールを上げることを忘れないでください。さらに、別のエフェクトユニット（外部エフェクト）を接続することもできます。この目的のためには、アンプの背面にあるセンド・アンド・リターンを使用してください（センドは外部エフェクトデバイスのインプットに、リターンは外部エフェクト・デバイスのアウトプットに接続してください）。エフェクトの効果は外部エフェクトユニットで調整されます。外部エフェクトループはパラレルモードで動作します。標準的なダブルフットスイッチを使用して、内蔵エフェクトのオン/オフを切り替えることができます。詳細は「バックパネル」-「footswitch」の項をご参照ください。

4

エフェクトテーブル

ナンバー	効果	タイプ
01	Long warm corridor	リバーブ
02	Xlarge marble church	リバーブ
03	Xlarge wood church	リバーブ
04	Large soft hall	リバーブ
05	Large bright hall	リバーブ
06	Mid vocal hall	リバーブ
07	Small dark room	リバーブ
08	Small soft room	リバーブ
09	Ambience delay	リバーブ／ディレイ
10	Swimmingpool	リバーブ

3.4

ファンタム電源に関する重要な注意事項

誤って使用すると、ファンタム電源がアンプ入力（ピックアップ、マイク、プリアンプなど）に接続されているデバイスを損傷する可能性があります。

対策：

▶

ファンタム電源は、必ず対応のアクセサリ機器にのみ使用してください。それ以外の場合は、対応するスイッチ（背面パネルの9 V、48 V）をオフにします（押さないでください）。

▶

必ずプラグを完全に差し込んでください。

▶

ライン / マイクスイッチに注意してください。マイクレベル設定（スイッチを押した状態）は、マイクの場合のみ使用してください。

▶

48 V スイッチを押すと、48 V がすべてのマイク入力に適用されます。48 ボルトのファンタム電源を処理するように設計されたマイクだけを接続する必要があります。他のマイクが破損する可能性があります。（ラインレベルに設定されたチャンネル入力は影響を受けません）。

3.5

9V ファンタム電源

本製品のチャンネル1と3は9Vのファンタム電源の供給が可能です。TRSフォンケーブルをご使用の上必要に応じてバックパネルのphantom power 9Vスイッチをonにしてください。

- オプション：
- ▶

内部設定の変更によりチャンネル2と4でもアクティブにすることが可能です。ただし、その場合にはch1 9Vスイッチon でチャンネル1、2ともに給電される形になります。（同様にch3 9vスイッチon でチャンネル3、4に同時給電）
- 注意：
- 設定変更を行うためには本体内部基盤上での操作が必要となります。正規のサービス担当が稼働/非稼働の設定を行う必要があります。（有償オプションとなります。）

3.6

48V ファンタム電源

本製品の各チャンネルXLR入力では48ボルトのファンタム電源の供給が可能です。XLR-XLRケーブルをご使用の上、必要に応じてバックパネルのphantom power 48Vスイッチをonにしてください。基本設定ではスイッチをonにするとすべてのチャンネルに給電される形となります。

- オプション：
- ▶

内部設定の変更により、それぞれのチャンネルにおける給電の有効/無効の切り替えが可能です。
- 注意：
- 設定変更を行うためには本体内部基盤上での操作が必要となります。正規のサービス担当が稼働/非稼働の設定を行う必要があります。（有償オプションとなります。）

Acoustic Solutions

Domino 3

取扱説明書

目次

1.はじめに	1
2.コントロールと接続	2
2.1 フロントパネル	2
2.2 バックパネル	3
3.各種操作	4
3.1 電源の入れ方	4
3.2 レベルコントロール	4
3.3 トーンコントロール	4
3.4 エフェクトコントロール	4
3.5 ファンタム電源に関する重要な注意事項	4
3.6 9V ファンタム電源	4
3.7 48V ファンタム電源	4
4.エフェクトテーブル	4
5.テクニカルデータ	5

1

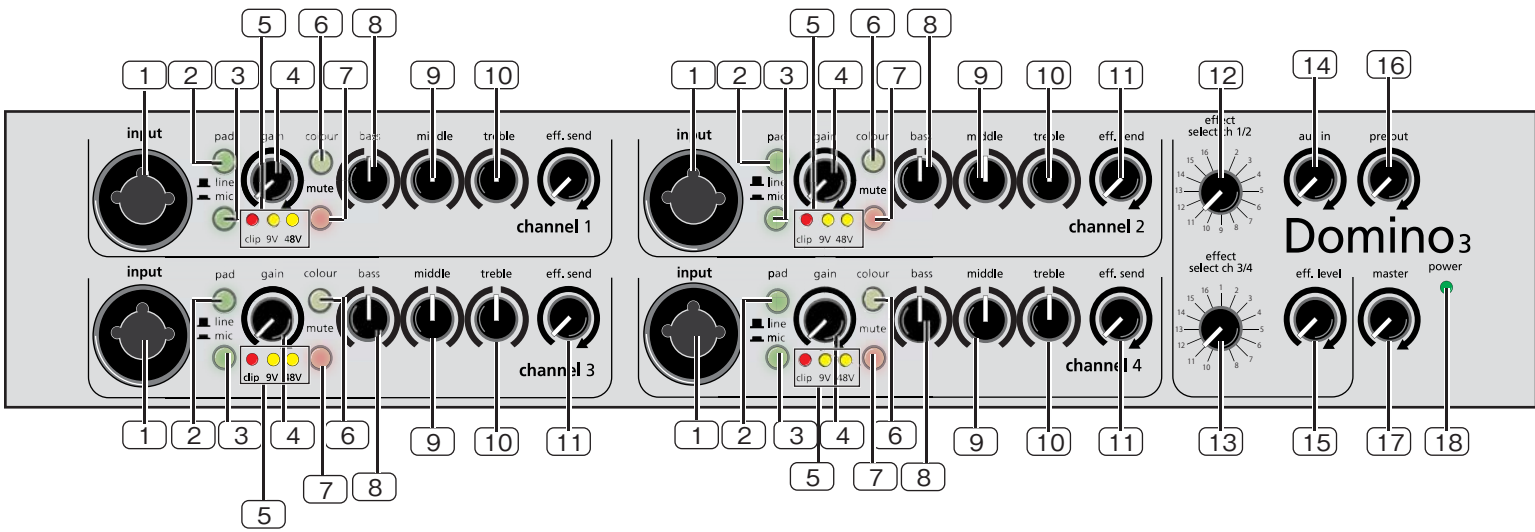
はじめに

この度は Domino/3 をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。Domino/3 は、コンパクト且つパワフルな 100Wx2 ステレオアンプです。4 つのディスクリートチャンネルにはそれぞれ独自の EQ、ミュート / カラー / パッドスイッチ、48V ファンタム電源などを搭載。さらに、内部の AER 32 ビットのデジタルエフェクトは USB 接続された PC 上の専用のコントロールソフトを使用して、1 & 2、又は 3 & 4 のチャンネルごとにパラメーター変更する事が可能です。本製品の性能を最大限に引き出し、演奏を楽しむためにも是非ご使用される前に本取扱説明書をお読みください。



2 コントロールと接続

2.1 フロントパネル

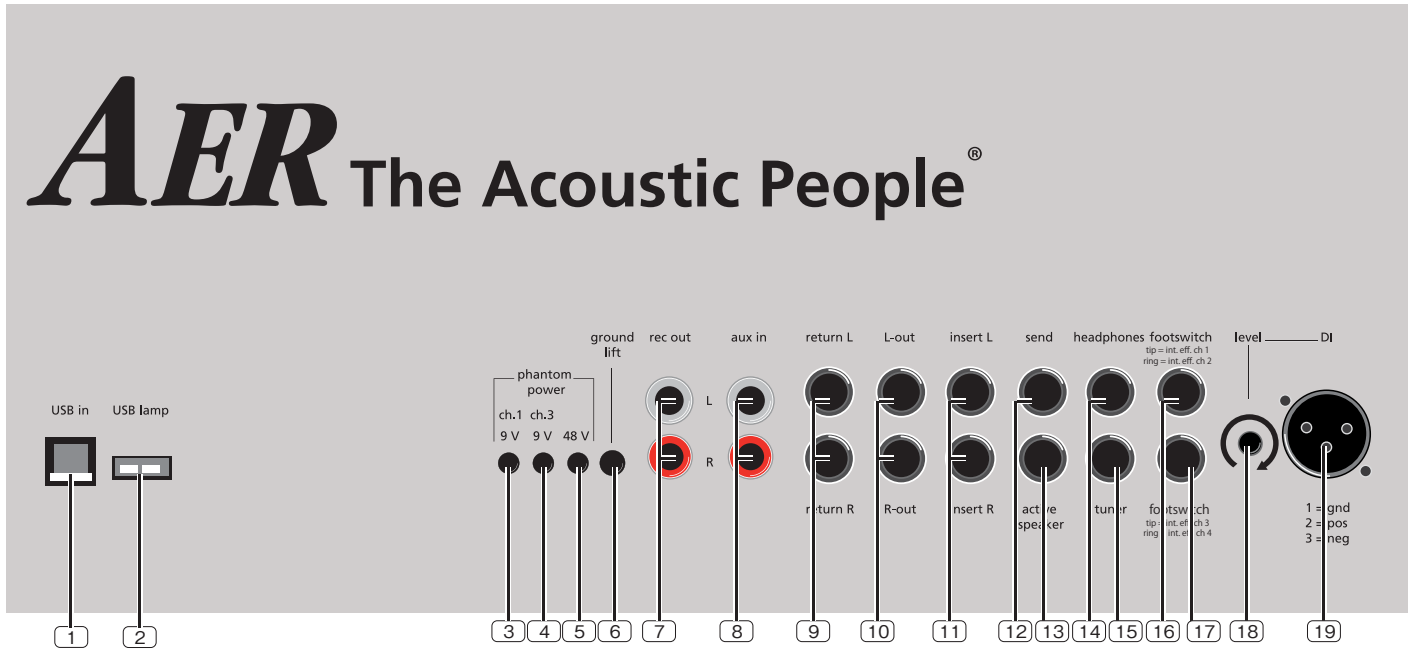


channel 1/2/3/4

① input -インプット-	XLR / 1/4"標準モノラルフォン 兼用入力端子
② pad -パッド-	入力感度選択スイッチ。 押すことによりONになり、感度を低くします。
③ line/mic -ライン/マイク-	信号源選択スイッチ。 line-ライン-(): 楽器（ピックアップ）用。 1/4"標準フォンを介してのみ使用可。 mic-マイク-(): フォンまたはXLRケーブル接続でのマイク用。
④ gain -ゲイン-	入力レベルをコントロールします。
⑤ LED indicator -LEDインジケーター-	入力レベルの状態とファンタム電源の供給状態を表示します。各表示は下記の状態を示します。 ▶ clip 許容入力を超えた入力が感知された際に点灯します。 ▶ 9V 9Vファンタム電源が入っている際に点灯します。工場出荷時は9Vファンタム電源はチャンネル1とチャンネル3にのみ設定されています。変更の方法は「3.5 9Vファンタム電源」をご参照ください。 ▶ 48V コンデンサーマイク用の48Vのファンタム電源が入っている際に点灯します。コンデンサーマイクご使用の際には「バックパネル部」phantom powerスイッチの48Vをonにしてください。
⑥ colour -カラー-	MID(中域)をカットしTREBLE(高域)をブーストするスイッチ

⑦ mute -ミュート-	チャンネルをミュート（消音）します。
⑧ bass -ベース-	ベース（低域）を調節します。
⑨ middle -ミドル-	ミドル（中域）を調節します。
⑩ treble -トレブル-	トレブル（高域）を調節します。
⑪ eff. send -エフェクトセンド-	エフェクトセクションへ送る信号の量を調節します。時計の8時の位置でエフェクトがoffになります。
⑫ effect select ch 1/2 -ch1 & 2エフェクトセレクト-	チャンネル1、チャンネル2のエフェクトを1～16で選択します。詳細は「エフェクトテーブル」をご参照ください。
⑬ effect select ch 3/4 -ch3 & 4エフェクトセレクト-	チャンネル3、チャンネル4のエフェクトを1～16で選択します。詳細は「エフェクトテーブル」をご参照ください。
⑭ aux in -オグジュアリン-	外部入力の音量を調節します。
⑮ eff. level -エフェクトレベル-	エフェクトの強さを調節します。
⑯ pre out -プリアウト-	L-out, R-out に接続されたシグナルレベルを調節します。
⑰ master -マスター-	全体の音量を調節します。
⑱ power -パワーインジケーター-	電源が入っているときに点灯します。

2.2 バックパネル



① USB in	PCと接続するための端子です。
② USB lamp	USBランプ用コネクタです。
phantom power	
③ ch. 1 9V	チャンネル1の9Vファンタム電源スイッチ。（TRSフォン使用時）
④ ch. 3 9V	チャンネル3の9Vファンタム電源スイッチ。（TRSフォン使用時）
⑤ 48V	48Vファンタム電源スイッチ（XLR使用時）
⑥ ground lift	信号グラウンドをグラウンド（アース）から切り離し、いわゆるグラウンド・ループによるハム・トラブルを回避します。このボタンは、通常オフになっています。
⑦ rec out L/R	プリアンプ出力（ポストEQ、エフェクト） RCA PIN （白=左チャンネル、赤=右チャンネル）
⑧ aux in L/R	追加の音源（例：CDプレーヤーなど）のための入力 RCAPIN（白=左チャンネル、赤=右チャンネル）
⑨ return L/R	外部エフェクトの出力信号の入力端子
⑩ L/R-out	プリアンプ出力（ポストEQ、エフェクト）。 プリアウトにて調整可能（左右6.3mmのモノラルジャックソケット付きのチャンネル）
⑪ insert L/R	外部デバイスのインサート端子（マスターボリューム以降） L/Rとも6.3mm TRSフォン端子 (tip=send ,ring=return,sleeve=ground)

⑫ send	外部エフェクトユニットに出力します。 6.3 mmモノラルフォン端子
⑬ active speaker	外部アンプ等への出力
⑭ headphones	ステレオヘッドホン出力。 6.3 mmステレオフォン端子。 (注) モノラルジャックのプラグを使用しないでください。 アンプが破損する恐れがあります。
⑮ tuner	外部チューナーに出力します。入力がミュートされているときにも使用できます。 6.3 mmモノラルフォン端子。
⑯ footswitch	内部と外部のエフェクトをオン/オフに切り替えるダブルフットスイッチに接続します。 （Tip =内蔵エフェクトch.1、Ring =内蔵エフェクトch.2 オン/オフ）。 6.3 mmステレオ（TRS）フォン端子。
⑰ footswitch	内部と外部のエフェクトをオン/オフに切り替えるダブルフットスイッチに接続します。 （Tip =内蔵エフェクトch.3、Ring =内蔵エフェクトch.4 オン/オフ）。 6.3 mmステレオ（TRS）フォン端子。
⑱ DI level	DI出力の信号のレベルコントロール
⑲ DI	バランスドプリアンプ出力、プリマスター、ポストEQ、Auxイン、エフェクト出力。 XLR出力端子
⑳ power on	ヒューズホルダとIECコネクターを組み合わせた電源スイッチ

